

今年12月、インドネシアのバリ島で開かれるCOP13。  
今回の会議のポイントなどについて、分かりやすく解説します。



Q1 COPとは、そもそもなに？

「国連気候変動枠組条約」の「締約国会議 (Conference of the Parties)」の略称です。「国連気候変動枠組条約」とは、地球温暖化防止の国際的な取り決めで定めた初の条約。その究極的な目的は、「温室効果ガスの大気中濃度を、自然の生態系や人類に悪影響を及ぼさない水準で安定化させること」です。条約は1992年に採択され、94年に発効。2007年10月現在、締約国の数は192カ国に上ります。COPは、この条約の加盟国が物事を決定するための最高決定機関で、第一回は95年にベルリンで開かれており、以降、毎年行われています。

Q2 京都議定書とは？

COPの中でも特筆すべきなのが、1997年に京都で開催されたCOP3。この会議で、気候変動枠組条約の下での取組をさらに強化するために、「京都議定書」が採択されたのです。これは、先進国に対して、「二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)やメタンなど、6種類の温室効果ガスの排出を削減することを求めています。2008〜12年の間に、1990年と比べて、先進国全体では5・2%削減することを決めています。ただし、国ごとに削減率は異なっていて、日本は6%、アメリカ7%、EU8%、ロシア0%です。日本は議定書を2002年に締結、04年にロシアが締結したことで、05年に議定書は発効しました。07年10月末現在、176カ国とEUが京都議定書を締結しています。しかし、世界最大の温室効果ガス排出国であるアメリカは、01年に不参加を表明しています。



Q3 COP/MOPとは？

「京都議定書締約国会合 (Conference of the Parties serving as the Meeting of the Parties)」の略称です。京都議定書の締約国による、最高決定機関としての会合のことをいいます。ただ、気候変動枠組条約と京都議定書の参加メンバーはほぼ重なるため、この会合(MOP)は、COPの一部として同時開催されているのです。第一回(COP/MOP1)は、COP11とともに、05年11〜12月にカナダのモントリオールで開催されました。ですから、今年のCOP13でも、「COP/MOP3」がいっしょに開かれることとなります。

Q4 今回の会議のポイントは？

今年、COP13とCOP/MOP3は、12月3日〜14日まで、インドネシアのバリ島で行われます。今回の会議のポイントは、やはり、いわゆる「ポスト京都」にあります。京都議定書の第一約束期間は、2012年に終わります。13年以降の温暖化対策の枠組に合意することが、とても重要になってくるのです。そこで、COP13では、次期枠組を話し合う、公式協議が一層本格化する予定となっています。そして、09年までに各国が合意することを目指す、「バリ・ロードマップ」という、いわば「工程表」づくりが行われる予定となっています。温暖化を止めるための、次の一手は……京都で開かれたCOP3からちょうど10年目の今年、まさに正念場です。

COP開催経緯

COP	開催時期	開催地
COP1	1995年3月	ドイツ・ベルリン
COP2	1996年7月	スイス・ジュネーブ
COP3	1997年12月	日本・京都
COP4	1998年11月	アルゼンチン・ブエノスアイレス
COP5	1999年10〜11月	ドイツ・ボン
COP6(会議中断)	2000年11月	ドイツ・ハーグ
COP6再開会合	2001年7月	ドイツ・ボン
COP7	2001年10〜11月	モロッコ・マラケシュ
COP8	2002年10月	インド・ニューデリー
COP9	2003年12月	イタリア・ミラノ
COP10	2004年12月	アルゼンチン・ブエノスアイレス
COP11、COP/MOP1	2005年11〜12月	カナダ・モントリオール
COP12、COP/MOP2	2006年11月	ケニア・ナイロビ
COP13、COP/MOP3	2007年12月	インドネシア・バリ島
COP14、COP/MOP4	2008年12月	ポーランド・ボズナン(予定)
COP15、COP/MOP5	2009年11〜12月	デンマーク・コペンハーゲン(予定)

イラストレーション/タニダリョーコ